

# 水の大切さと地域環境を学ぼう～施設見学会～

今回で7回目となった西明寺小学校4年生との施設見学会は、10月30日の実施となった。

今年は昨年までの宮田頭首工、西明寺高区浄水場、下水処理施設の西明寺クリーンセンターに加え小山寺頭首工を見学した。当日朝まで雨が降り天気を心配していたが、見学中は晴れてゆっくり見学することが出来た。

宮田頭首工では子供たちは、改良区の説明に熱心に聞き入り、またメモをとっていた。

最初に管理事務所の中を見て遠隔操作で水門のゲートを調節することを知り、管理橋に上りその高さや長さ(100m)水深(2m)を知った。また、桧木内川の上流から流れてきたゴミが取水口に溜った様子を見て、何気なく捨てたゴミが川を汚すということを知ったと思う。また自家発電機をみて、停電になっても大雨の場合にはゲートは自動で上がることを知った。次に今回が初めてとなる小山寺頭首工の見学に行った。こちらの頭首工は田沢湖の水が流れてくる瀧尻川にかかるラバーゲートで、ゴムで出来ていて風船の様に膨らんで川をせき止め、大雨になるとゲートが萎むことの説明を受け、ゴムという言葉に皆驚いていた。ここでは多くの質問が出た。

次に仙北市企業局の協力で浄水場を見学させてもらった。最初に建物の外にある戸で地下水を汲み上げ、炭酸を抜き建物内で濾過機や塩素で浄化して、各家庭に供給されることを知った。最後に仙北市下水道課の協力で下水処理場を見学させてもらった。そこでは汚水を浄化するバクテリアの姿を電子顕微鏡で見ることが出来た。処理場で浄化された水は桧木内川に流れていく。どの施設でも、自分たちの生活に水はかけがえのないもので色々な人たちがその水を管理していること、ゴミを捨てたりして川を汚してはいけないことを知ってくれたと思う。また水土里ネットの役割もよく理解してくれたようである。

後日感想文を「きらきら発見」と題し文集にして配り、各家庭で読んでもらうようにした。仙北市広報でも大きく取り上げて掲載になったので、市内全域で知られるようになったと思う。



活動体制	
実施主体	水土里ネット西木（仙北市西木土地改良区）
後援・連携	西明寺小学校、仙北市役所
実施期間	10月30日
参加者	西明寺小学校4年生（20名）先生（2名）仙北市役所（6名）土地改良区（8名）
報道関連	広報SENBOKUせんぼく
活動実施年数	7年目（H19年～）
連絡先	〒014-0515 仙北市西木町門屋字漆原87 仙北市西木土地改良区 TEL.0187-47-2602
その他	さなえ賞（H21）

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット西木（伊藤 長三）					
○活動の目標及び達成率	目標	小学生を対象に水土里ネットの役割と「水と環境の大切さ」を考えてもらい、各家庭で話題にしてもらう			
	達成率	99%			
○活動に対する評価	・7回目となる施設見学会は、すっかり定着したように思う。真剣に説明を聞く子供達の感想文には、「水は大切だ」「川にゴミを捨てない」という言葉が多かった。				
判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			②運動の発展・拡大	C	浸透・継続にはなっていないが広がりはない
①役職員・組合員の参加	B	施設見学会の様子を市の広報や総代会資料に載せて、活動を周知徹底している	③運動の計画性	A	大いになっている
②後継者育成の工夫	D	特にしていない	4. 運動の成果		
2. 活動の意義性について			a. 組織活性化	D	
①基本理念の設定	A	当初から小学生を対象に施設見学会を行い、水土里ネットの役割と「水と環境の大切さ」を各家庭で話し合ってもらおうと活動している	b. 地域農業	D	
②地域の歴史等の伝承	B	宮田頭首工と小山寺頭首工の2つの頭首工を持っているので、それぞれを見学することが出来た	c. 地域コミュニティー	A	小学校との信頼関係が築けている
③運動の先駆性	E	今出来る活動は小学生の施設見学会だけである	d. 地域資源管理	D	
3. 運動の継続性・発展性			5. 今後の課題等について		
①運動の継続性	A	大いになっている	・現在できる活動はしているが、他の活動を模索中である		

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他